

議 事 録

令和4年度 岡山県立備前緑陽高等学校 第1回学校運営協議会

出席者：校内学校運営協議会委員：校長、校外学校運営協議会委員：荒木、石原、梶藤、菊伊、寺尾、西山、馬場、松畑、三木^澄、吉村）事務局：教頭、事務長、土井、橋本、藤原、加藤、山下

欠席者：岡部（※岡武教頭が代理出席）、谷口、三木^健、吉田

日 時 令和4年6月2日（木）14:00～16:00 場 所 岡山県立備前緑陽高等学校 工業基礎実習室

- 1 開会・校長挨拶
- 2 委員紹介
- 3 学校運営協議会について
- 4 会長・副会長の選出
- 5 令和4年度の基本方針について

（1）令和4年度の基本方針について

- ・令和4年度具体的な学校経営目標・計画について
- ・令和4年度の予算について
- ・スクールポリシーについて
- ・学校運営協議会の組織は和気高や邑久高の他、県立高校にはあるのか。また、スクールポリシーについて学校運営協議会で検討するとあるが、他校の状況はどうなっているのか。検討されたものが出てきているのか。今後検討するために他校の資料はあるのか。

（2）令和3年度学校運営協議会およびびぜんのまち活性化プロジェクトの成果について

- ・びぜんみらい学の取組について
- ・地域貢献に関する取組について
- ・学校支援に関する取組について
- ・学校の魅力発信に関する取組について

【全体を通して】

・3年連続定員を下回っているが、様々な魅力発信の取組をしているにもかかわらず、そのような事態になっている原因について、思いつくものでよいので教えてほしい。

→東備地区の生徒数の減少がある。また、私学の就学支援金等の補助が大きくなっていて、私立に志願者が流れる傾向がある。本校は全県学区のため、瀬戸内市や岡山市の東部などからも生徒を引きつけようと魅力発信をしている。県全体としても教育体制整備を進めていて、令和5年までしっかりと魅力発信をし、分析をするように指示されている。

・定員については大変厳しい問題であることは、受け止めなければならない。原因は先ほど説明されたことがあることは理解できるが、基本的には学校の魅力そのものであると思う。せめて3～5年で見直していく必要があるのではないかと。学校改革検討委員会を作って、市や運営協議会委員などで一緒に考えていく必要があるのではないかと。

・現在就職希望者は何人くらいか。備前市職員や公立病院、公的施設、大手私企業等に就職していくような道筋を学校と一緒に作って行って、がんばれば備前市の職員になれるという方向性をもう少し出していった方がよいのではないかと。

6 グループ協議

休憩の後、ABCの3つのグループに分かれ、代表生徒6名を加え、「本校の（現在と今後の）強みとPR方法について」というテーマで協議を行い、後で各グループの意見を共有した。

7 閉会